

棧敷窓から



▲棧敷窓からお雛さまを見る (村井新町)

会所でいっぷく



▲村井会議所では「ひなうどん」の販売が行われました

▲ 1杯 300円。
お雛さまのかまぼこ入り

^{ふだ}上大窪町や札の辻でもほっと一息つける場所が設けられていました。

人力車が走る



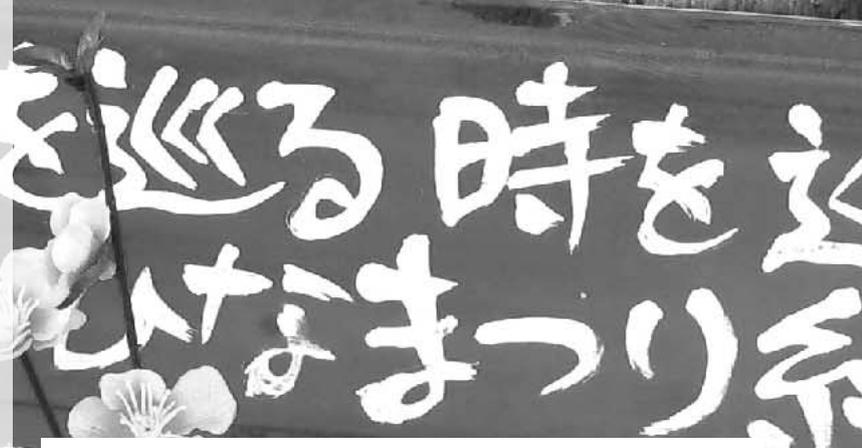
▲人力車に乗って町並みを楽しむ



▲日野町連合青年会の方をはじめとするボランティアが引き手となって運行されました

日野まちかど感応館から下鍛冶町までの運行となりました。

「日野ひなまつり紀行」華やかに開催



関わってくださった皆さん
お疲れさまでした

2月7日(土)から3月8日(日)まで開催された「日野ひなまつり紀行」は、東は馬見岡綿向神社、西はギンザ商店街にいたるまで、規模を大きくして開催されました。参加されたのは139軒、観光客も1万人を突破しました。2月28日(土)、3月1日(日)、7日(土)、8日(日)には、句会や落語会(17ページ参照)などいろいろな行事も開催され、見所がいっぱい。訪れた観光客や日野にお住まいの方は、手描きの地図を持って、のんびりと散策されていました。

実行委員会の皆さんは、来年は関西一の参加者のある、関西一素敵なひなまつりにしよう、もう来年の夢を描いておられます。

日野まちかど感応館



▲たくさん並んだお雛さまの前でハイポーズ！

近江日野商人館



▲たくさんのお雛さまと日野幼稚園児の手作りのお雛さまが並ぶ

大窪下鍛冶町



▲正野人形館には手作りのものも含めてたくさんのお雛さまが飾られました

おみやげの「ほいざる」



▲大窪下鍛冶町会議所では合槌の会の方が、「ほいざる」作りに大忙し

大窪清水町



▲手作りのお雛さまが並ぶ

昔ながらの町並みを残す清水町や、ギンザ商店街の方も、今年から加わられました。

日野ギンザ商店街



▲ガラスケースの中にお雛さま

馬見岡綿向神社



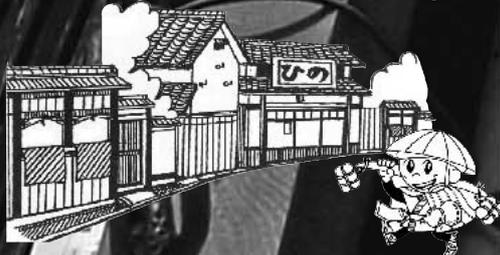
▲江戸時代に製作されたお雛さま



▲玄関先にはホイ飾りと竹筒に入ったお雛さま。今年はホイ飾りに俳句の短冊が飾られました

この他にも、社務所には御殿びなの展示がされました。

まちのわだい



“日野ひなまつり紀行”特集